

ロイヤルシティビュー牛田本町

※下表の空欄に環境配慮設計の概要をコメントしてください。

配 慮 項 目			評価点		重み係数		内 訳				
■1.「地球温暖化対策」の推進											
1.1 建物の熱負荷抑制											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 窓ガラスは遮熱低放射複層ガラスを標準設置。	4.0	0.32	Q1	室内環境	2	温熱環境	2.1	室温制御	3	外皮性能	
	3.0	0.32									
	3.0	0.36	LRI	エネルギー	1	建物の熱負荷抑制					
小計	3.3	0.43									
1.2 自然エネルギーの利用											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	3.0	0.50	LRI	エネルギー	2	自然エネルギー利用	2.1	自然エネルギーの直接利用			
	3.0	0.50	LRI	エネルギー	2	自然エネルギー利用	2.2	自然エネルギーの変換利用			
小計	3.0	0.08									
1.3 設備システムの高効率化											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 エコキュートの採用。	5.0	1.00	LRI	エネルギー	3	設備システムの高効率化					
小計	5.0	0.16									
1.4 設備システムの効率的運用											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。	0.0	0.00	LRI	エネルギー	4	効率的運用	4.1	モニタリング			
	0.0	0.00		エネルギー	4	効率的運用	4.2	運用管理体制			
小計	0.0	0.00									
1.5 資源・マテリアル対策											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 節水便器・節湯器具の採用。造作家具に集成材を使用。	4.0	0.08	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.1	節水			
	3.0	0.12	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	1	雨水利用システム導入の有無	
	3.0	0.00	LR2	資源・マテリアル	1	水資源保護	1.2	雨水利用・雑排水再利用	2	雑排水再利用システム導入の有無	
	3.0	0.06	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.1	材料使用量の削減			
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.2	既存建築躯体等の継続使用			
	3.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.3	断体材料におけるリサイクル材の使用			
	3.0	0.16	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.4	非断体材料におけるリサイクル材の使用			
	3.0	0.04	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.5	持続可能な森林から産出された木材			
	3.0	0.19	LR2	資源・マテリアル	2	非再生性資源の使用量削減	2.6	部材の再利用可能性向上への取組み			
小計	3.1	0.23									
1.6 ライフサイクルCO2排出率											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 可能な限りCO2の排出を抑制する。	5.0	1.00	LR3	数地外環境	1	地球温暖化への配慮					
小計	5.0	0.10									
1.「地球温暖化対策」の推進の評価											
	3.7	0.74									
■2.「ヒートアイランド対策」の推進											
2.1 温熱環境の向上											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 1階をピロティにしている。	1.0	0.49	Q3	室外環境(敷地内)	1	生物環境の保全と創出					
	3.0	0.24	Q3	室外環境(敷地内)	3	地域性・アメニティへの配慮	3.2	敷地内温熱環境の向上			
	2.0	0.27	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.2	温熱環境悪化の改善			
小計	1.8	0.96									
2.2 交通負荷抑制											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 住戸数の200%の駐輪台数を確保。	4.0	1.00	LR3	敷地外環境	2	地域環境への配慮	2.3	地域インフラへの負荷抑制	3	交通負荷抑制	
小計	4.0	0.04									
2.「ヒートアイランド対策」の推進の評価											
	1.9	0.14									
■3.「長寿命化対策」の推進											
3.1 耐用性の向上											
(コメント) ※配慮事項を簡潔に記載してください。 躯体は劣化対策等級3相当。外壁は磁器タイル。 内部は主にビニルクロスを使用。	3.0	0.47	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	部品・部材の耐用年数	1	耐震性	
	3.0	0.12	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.1	部品・部材の耐用年数	2	免震・制振性能	
	5.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数		躯体材料の耐用年数	
	5.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	
	3.0	0.04	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	
	3.0	0.03	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	4	空調換気ダクトの更新必要間隔	
	3.0	0.06	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	5	空調・給排水配管の更新必要間隔	
	3.0	0.09	Q2	サービス性能	2	耐用性・信頼性	2.2	部品・部材の耐用年数	6	主要設備機器の更新必要間隔	
小計	3.4	0.47									
3.2 設備の更新性											
(コメント) ※設計の計画し特段に配慮した事項を記載してください。 配管の点検口・掃除口を設置。	3.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	1	空調配管の更新性	
	2.0	0.17	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	2	給水配管の更新性	
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	3	電気配線の更新性	
	3.0	0.11	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	4	通信配線の更新性	
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	5	設備機器の更新性	
	3.0	0.22	Q2	サービス性能	3	対応性・更新性	3.3	設備の更新性	6	バックアップスペース	
小計	2.8	0.53									
3.「長寿命化対策」の推進の平均点(上記2項目)											
	3.1	0.12									
■重点項目の総平均(上記3項目)											
	3.3										